# 高岡市災害備蓄計画

令和5年(2023年)3月

高岡市

## 【目次】

1	基	本的な考え方	1
	(1)	計画の位置づけ	. 1
	(2)	目標年次	. 1
	(3)	今後の計画の改定	. 2
	(4)	備蓄手法及び支援体制	. 2
2	対	・ 象とする避難者数	3
	(1)	被害想定及び対象とする避難者数(現物備蓄の支給対象者数)	. 3
	(2)	主体別の分担割合	. 4
	ア	富山県の考え方	. 4
	イ	高岡市の考え方	. 5
3	現		6
	(1)	備蓄場所	. 6
	ア	飲料水、食料、寝具、生活必需品及び感染症対策物品	. 6
	1	応急対策用資機材	. 6
	(2)	備蓄品目	. 6
	ア	飲料水	. 6
	1	食料	. 7
	ウ	寝具	. 8
	工	生活必需品	. 8
	オ	応急対策用資機材	. 9
	力	感染症対策物品	. 9
	(3)	本市の現物備蓄の整備量(目標量)	10
	ア	品目ごとの算出根拠及び整備量	11
	1	整備量一覧	17
	ウ	備蓄場所ごとの整備量	
4	流	:通備蓄	20
	(1)	災害時相互応援協定都市	20
	(2)	災害時応援協定事業者(民間事業者)	21
5	整	: :備・更新の考え方:::::::::::::::::::::::::::::::	22

### 1 基本的な考え方

大規模災害の発生直後は、交通及び通信インフラの寸断等で救援物資の供給が滞り、被災地外からの支援が行き届かないことが想定される。

このため、市民及び事業者が「自らの命は自らで守る。自らの地域はみんなで守る。」という自助・共助の視点から、家庭等における非常持出品の備蓄が重要である。地震による災害では、家屋の倒壊、焼失により多数の避難者及び負傷者が予想されるため、日頃から発災直後に必要な物資を備えておくことが必要である。

また、内陸活断層型(直下型)地震である阪神・淡路大震災では、発災1日目の昼頃から被災自治体に物資が届き始めている\*1。新潟県中越地震及び熊本地震に被災した自治体\*2では、被災経験を活かし、現物備蓄する数量を発災1日分とし、災害協定による民間事業者等が持つ資源を活用することとされている。

以上から、本市では、被災により自らの備蓄品を持ち出すことができない避難者に対して、発災1日目の飲料水、食料、生活必需品等を現物備蓄するとともに、2日目以降は、流通備蓄等を活用する。

- ※1: 内閣府 阪神・淡路大震災教訓情報資料集 第1期初動体制(初動72時間を中心として) 1-07. 緊急食糧・物資調達と配給 【03】物資の受入と仕分け、配送
- ※2:長岡市地域防災計画-震災対策編-平成25年度修正 提言・指針 第1節 2長岡市防災体制の確立 民間流通在庫の積極的な活用
  - : 熊本市大規模災害時における物資供給計画対応マニュアル 令和3年4月Ⅲ「備蓄対策」 1備蓄及び家庭・地域・企業内備蓄の基本的な考え方、2 備蓄目標

#### (1) 計画の位置づけ

高岡市災害備蓄計画(以下「本計画」という。)は、高岡市地域防災計画に基づき作成する計画であり、富山県の災害救助物資備蓄の考え方(平成25年4月12日)を基本にする。

また、本計画は、災害時において物資調達及び供給を円滑に実施するための高 岡市災害時受援計画(令和4年5月策定)を踏まえたものである。

### (2) 目標年次

本計画の目標年次は、令和8年度(2026年度)とする。

### (3) 今後の計画の改定

本計画は、高岡市地域防災計画を変更した場合、富山県の災害救助物資備蓄の 考え方が変更された場合のほかに、社会情勢が変化した場合に都度検討を行い、 適時適切に改定する。

### (4) 備蓄手法及び支援体制

#### ○家庭内備蓄

家庭内、地域内及び事業所内備蓄は、家庭等において食料や生活必需品を備蓄する手法であり、発災直後からそれぞれのニーズに応じて使用することができる。

#### ○現物備蓄

本市及び富山県において現物を購入、備蓄し、発災直後から避難者のニーズに応じて物資を支給する手法

#### ○流通備蓄

応援協定を締結している自治体及び事業者に必要な物資の調達を依頼し、 本市が支給する手法

#### ○国のプッシュ型支援

発災直後に被災自治体からの具体的な要請を待たずに避難所での避難者へ必要不可欠と見込まれる物資を国が調達し、緊急輸送する支援であり、基本的には、発災後4~7日目に対応する。

#### ○国のプル型支援

被災自治体が物資のニーズを調査し、国が被災自治体の要請に応じて物資 を調達する支援であり、一定の時間を要する。

## 2 対象とする避難者数

(1) 被害想定及び対象とする避難者数 (現物備蓄の支給対象者数)

本計画において対象とする災害は、発生をあらかじめ予測することが難しく、 市域全域に被害が想定される地震とし、平成29年12月に富山県が作成した富山 県地震被害想定調査委託業務報告書(以下「県報告書」という。)から、本市に最 も大きな被害が想定される「邑知潟(おうちがた)断層帯\*3の地震(規模:マグ ニチュード7.6)」とする。県報告書から、邑知潟断層帯の位置図は図1に示し、 想定震度分布図は図2に示すとおり(本市にて赤点線及び補足説明を追記)。

※3:本市に最も大きな被害が想定される震源モデル(ケース4)とする。

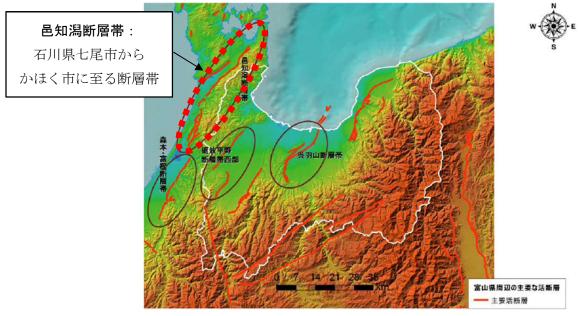


図1 富山県周辺の主要な活断層(邑知潟断層帯は、赤点線で表示)

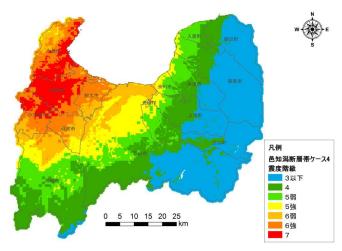


図2 邑知潟断層帯の地震における想定震度分布

邑知潟断層帯地震の被害想定では、発災4日後(冬18時)が最も避難者が多くなるが、被災都市の教訓を踏まえ、現物備蓄で対応する期間を発災1日間とすると、本市の発災1日後の避難者数<sup>\*\*4</sup>は92,909人となる。このうち、親戚等へ避難(疎開)した者を除いた避難所への避難者数は、60,391人と推計されている。

このため、本市では、表1のとおり避難所への避難者数のうち被災により住宅の全壊及び焼失で個人備蓄を持ち出すことができない者を現物備蓄の支給対象者(以下「備蓄支給対象者」という。)とし、24,156人とする。なお、建物が半壊した者は、自宅から必要な物資を持ち出すことが可能と想定し、含めない。

※4:避難者数=建物被害を受けて避難する人数+自宅の建物自体には被害が ないが断水により避難する人数

表 1	備蓄の支給対象とする	る避難者(邑知潟断層帯の地震)

発災後	避難所への	全壊率	備蓄
0	避難者数	(全壊住宅棟数+焼失住宅棟数) /住宅	支給
日数		棟数	対象者
			(必要量)
	а	b	$a \times b = c$
1日後	60, 391 人	(33, 393 棟+383 棟) ∕84, 712 棟≒ <b>40%</b>	24, 156 人
4日後	72,828 人	(33, 393 棟+383 棟) /84, 712 棟≒40%	29, 131 人

### (2) 主体別の分担割合

#### ア 富山県の考え方

富山県では、県、市町村及び応援の3者で分担して備蓄することにしており、主体別の分担割合は、表2のとおり。(飲料水、食料及び生活必需品は、3日あたりの分担割合とし、寝具は、備蓄支給対象者1人に1枚を支給することを100%とする。)

表 2 主体別の分担割合

	品目	飲料水	食料	寝具	生活必需品
主体					
富山県		20%	50%	50%	0%
	現物備蓄	0%	30%	30%	0%
	流通備蓄	20%	20%	20%	0%
市町村		70%	40%	40%	90%
応援※5	5	10%	10%	10%	10%
	計	100%	100%	100%	100%

※5:被災をまぬがれた個人等からの支援

#### イ 高岡市の考え方

富山県、市及び応援で備蓄する富山県の考え方を基本に、本市では、表3のとおり発災1日目は、市及び県の現物備蓄で対応、発災2日目から3日目は流通備蓄等を活用、4日目以降は国プッシュ型支援等を活用する。

表3 物資調達の考え方

対象者	発災1月目	2月目	3月目	4日目以降
個人備蓄を 持ち出せる者	自助・共助による備蓄		国プッシュ型	
備蓄支給対象者	現物備蓄	流通備蓄等	流通備蓄等	支援等 

以上より、本市では、発災1日目の現物備蓄の分担割合を、表4のとおりとし、 本市の分担分は、全量(100%)から富山県の現物備蓄割合を差し引いた割合とす る。

表 4 発災 1 日後の現物備蓄の分担割合

品目	飲料水	食料	寝具	生活必需品
主体				
富山県 (現物備蓄)	0%	30%	30%	0%
高岡市 (現物備蓄)	100%	70%	70%	100%

発災2日目及び3日目の飲料水、食料及び生活必需品の主体別の分担割合は、表5のとおりとし、本市が分担する分については、すべて流通備蓄で対応する。

富山県の流通備蓄(20%)及び応援(10%)の寝具については、発災2日目以降の備蓄支給対象者へ配布する。

表 5 発災 2 日目、 3 日目の主体別の分担割合

	品目	飲料水	食料	生活必需品
主体				
富山県		20%	50%	0%
	現物備蓄	0%	30%	0%
	流通備蓄	20%	20%	0%
高岡市		70%	40%	90%
	現物備蓄	0%	0%	0%
	流通備蓄	70%	40%	90%
応援※5		10%	10%	10%
	計	100%	100%	100%

※5:被災をまぬがれた個人等からの支援

## 3 現物備蓄

### (1) 備蓄場所

#### ア 飲料水、食料、寝具、生活必需品及び感染症対策物品

飲料水、食料、寝具及び生活必需品等は、避難所開設後速やかに配布する体制とするため、小学校等の拠点避難所(小学校23か所、義務教育学校1か所、旧小学校3か所の計27か所)に分散して備蓄する。なお、拠点避難所に備蓄スペースが不足する場合は、中学校等の近隣の公的施設を活用する。

#### イ 応急対策用資機材

応急対策用資機材は、主に防災関係者が使用するため、表6のように市内 3か所の倉庫に分散して備蓄する。

表 6 集中備蓄倉庫

施設名	住所
福岡防災センター	福岡町土屋 14番1号
戸出防災センター	戸出西部金屋 800 番地 1
市役所本庁舎	広小路7番50号

### (2) 備蓄品目

#### ア 飲料水

飲料水は、発災1日目に直接飲用する水として、1人あたり約1 $\ell^{*6}$ を表7のように備蓄する。なお、2日目以降は、調理等に使用するものを含めて1人あたり3 $\ell$ を市上下水道局による応急給水及び流通備蓄等で対応する。

表 7 飲料水

品目	備考
飲料水	・約0.50(2本)を備蓄する。
【10年保存品】	

※6:被災1日目は、飲料水1リットル、非常食3食を備える(災害時に備えた食品ストックガイド:平成31年3月農林水産省)。

#### イ 食料

食料は、発災1日目の非常食として、1人あたり3食を表8のとおり備蓄する。なお、2日目以降は、災害協定による流通備蓄等で調達する。

表8 食料

品目	備考
パン	・1食分を、調理器具を使わずに手軽に食べら
【5年保存品】	れるパン(3種類(3つの味))とする。
ご飯(アルファ化	・1食分を、比較的日常生活の主食に近く、副
米**7)	食が不要なご飯(アルファ化米)とする。な
【5年保存品】	お、アレルギー特定原材料等 28 品目を含ま
	ず、ハラール認証*8を受けたご飯(3種類
	(3つの味))とする。
ビスケット	・1食分を、調理器具を使わずに手軽に食べら
【5年保存品】	れ、幅広い年代で食べられる分包(真空パッ
	ク) されたクリームサンドビスケットとす
	る。
低たんぱく米(ア	・腎臓機能障がい者向けに3食分を、アレルギ
ルファ化米 <sup>※7</sup> )	一特定原材料等 28 品目を含まず、タンパク質
【5年保存品】	の含量を抑えたご飯とする。
おかゆ(アルファ	・幼児向けの離乳食及び高齢者向けの食料とし
化米*7)	て3食分を、アレルギー特定原材料等28品目
【5年保存品】	を含まず、ハラール認証*8を受けた咀嚼しや
	すいおかゆ(3種類(3つの味))とする。
液体ミルク、粉ミ	・災害時にお湯がなくても開封後すぐに使用でき
ルク	るよう、0歳児向けの液体ミルク(1人10)と、
【1年保存品】	ミルクアレルギーの0歳児向けに、ミルクアレ
	ルゲン除去食品及び無乳糖食品として消費者
	庁の許可を受けた粉ミルク (1人135g)とす
	る。
乳幼児用せんべい	・0歳から2歳児向けに、補助食品として、歯が
【5年保存品】	生えていなくても食べやすく、アレルギー特定
	原材料等28品目、香料、着色料及び保存料を含
	まず、カルシウムが配合され、100%国産米を使
	用したせんべい(1人1袋)とする。

※7:急速乾燥によって澱粉の状態を固定させた乾燥米飯

お湯を注入することで米飯への復元が可能となるもの

※8:NP0法人日本アジアハラール協会が認証したもの

#### ウ寝具

寝具は、発災1日目の防寒対策等として、コンパクトに収納できる毛布又は アルミ保温シート等(以下「アルミ保温シート等」)のいずれか1枚を備蓄す る。なお、2日目以降は、災害協定による流通備蓄等で調達する。

### 工 生活必需品

生活必需品は、発災1日目の避難所生活に必要と考える物資として、1人あたり1日分を表9のとおり備蓄する。なお、2日目以降は、災害協定による流通備蓄等で調達する。

表 9 生活必需品

衣 9 生 佔 少 市 山	
品目	備考
携帯トイレ(排便	・仮設トイレが設置されるまでの間に使用する
処理袋)	ものとして、排便処理袋を1人あたり5回*と
	する。
	※避難所におけるトイレの確保・管理ガイド
	ライン (9ページ):令和4年4月改定内閣府
トイレットペーパ	・1人あたり 7.5m*を備蓄する。なお、災害時
<u></u>	は学校等の備品も活用する。
【10年保存品】	※NP0 緊急災害備蓄推進協議会(経済産業省推
	奨)によると、4人で150m巻6ロールを約1
	ヶ月分としている。150m×6ロール÷4人÷
	30 日(1ヶ月) =7.5m/人/日
紙おむつ	・乳幼児用(0~3歳児)向けに、1人あたり
(乳幼児用)	8枚を備蓄する。サイズは、新生児用(SS)・
【10年保存品】	S・M・Lの4サイズとする。
紙おむつ	・要介護認定3以上の方向けに、1人あたり6
(大人用)	枚を備蓄する。サイズは、M・Lの2サイズ
【10年保存品】	とする。
おしりふき	・皮膚の弱い乳幼児も使用できるおしりふき*
(乳幼児用)	※医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安
【5年保存品】	全性の確保等に関する法律で化粧品に分類さ
	れ、厚生労働省が定める化粧品基準に適合し
	たものであり、乳幼児に使用できるもの。
哺乳瓶	・消毒不使用で、開封後すぐに使用できるよ
【5年保存品】	う、乳児用(0歳児)向けに、1人あたり1
	組5回分(使い捨てタイプ)を備蓄する。

品目	備考
生理用品	・生理対象年齢の女性に対して、月経周期を考
【10年保存品】	慮し、1人あたり6枚を備蓄する。
避難所必要物品	・飲料水や生活用水を汲置するためのポリタン
	ク、バケツ、水槽(5000)
<ul><li>コンロ用ガス</li></ul>	・0歳児向けの粉ミルク用の飲料水を加熱する
【3年保存品】	ためのカセットコンロ、コンロ用ガス、鍋、
• 救急箱内物品	やかん
【3年保存品】	・応急手当用品を入れた大型救急箱
・カイロ	・女性の着替えや授乳時に使用する防災テン
【5年保存品】	ト、間仕切り、ブルーシート、敷きマット
	・照明用の投光機、発電機及び燃料を保管する
	燃料携行缶
	・防寒対策としてのカイロ
	・事務用品、受付名簿(様式集)、ビブスなど

#### 才 応急対策用資機材

資機材は、表10のとおり応急対策活動に必要な品目を備蓄する。

表 10 応急対策用資機材

品目	備考
救助・救出資機材	・ロープ、破壊工具(かけや、ハンマー、のこ
	ぎり、チェーンソー、エンジンカッター)、油
	圧ジャッキ、つるはし、スコップなど
避難誘導・搬送資	・誘導棒、ライト、メガホン、担架、リヤカー
機材	など
炊き出し用資機材	・大鍋、調理器具など
その他	・バリケード、通行止め看板など

### 力 感染症対策物品

感染症対策物品は、避難所における感染症対策として、手指消毒液、マスク (子供・大人)、使い捨て手袋及び非接触式体温計等を備蓄する。

## (3) 本市の現物備蓄の整備量(目標量)

本市の現物備蓄の整備量は、表 11 の数量根拠に基づき、次のとおりとする。

表 11 対象人口割合の算出根拠(令和4年3月末時点)

年齢区分	人口割合	人口	備考
0歳	0.6%	1,016	液体ミルク又は粉ミルク 哺乳瓶
0~2歳	1.8%	2, 981	乳幼児用せんべい
0~2歳、 75歳以上	19.9%	33, 239	おかゆ (離乳食・高齢者向け)
3~74歳	80. 1%	133, 402	パン ご飯 ビスケット
腎臓機能 障がい者	0.3%	539	低たんぱく米 69 歳以下:196 人 70 歳以上:343 人
0~3歳	2.4%	4, 060	紙おむつ(乳幼児用) おしりふき(乳幼児用)
要介護認定 3以上	2.6%	4, 380	紙おむつ(大人用)
12~51 歳 女性	19.9%	33, 180	生理用品
0~3歳、 要介護認定 3以上合計	5. 1%	8, 440	携帯トイレ対象外人数

1		
# \ D	166, 641	
$111 \setminus C \mapsto$	100,041	

## ア 品目ごとの算出根拠及び整備量(目標量)

### 【飲料水】

品目	算出根拠及び整備量	対象者
飲料水	1人あたり約1ℓ、1日分を備蓄	備蓄支給対
	全体整備量(市現物備蓄量)	象者
	24, 156 人×約 1 ℓ=24, 156ℓ	
	【本数換算】	
	24, 156ℓ×2本(約 0. 5ℓ換算)	
	=48,312 本 (2,013 箱 (24 本入))	

## 【食料】

品目	算出根拠及び整備量	対象者
パン	1人あたり1食、1日分を備蓄	3~74歳
【3種類(3	全体整備量	
つの味)】	24, 156 人×80. 1%×1 食=19, 349 食	
	県現物備蓄量	
	24, 156 人×80. 1%×30%×1 食=5, 805 食	
	※本市が考える富山県の分担割合	
	【市現物備蓄量】	
	19,349 食-5,805 食=13,544 食	
	≒13,572 食(377 箱(36 食入))	
ご飯(アルフ	1人あたり1食、1日分を備蓄	3~74歳
ア化米)	全体整備量	
【3種類(3	24, 156 人×80. 1%×1 食=19, 349 食	
つの味)】		
	県現物備蓄量	
	24, 156 人×80. 1%×30%×1 食=5, 805 食	
	※本市が考える富山県の分担割合	
	【市現物備蓄量】	
	19,349 食 $-5,805$ 食 $=13,544$ 食	
	≒13,550 食(271 箱(50 食入))	

品目	算出根拠及び整備量	対象者
ビスケット	1人あたり1袋(約15枚入)、1日分を備蓄	3~74歳
【クリームサ	全体整備量	
ンド】	24, 156 人×80. 1%×1 袋=19, 349 袋	
	県現物備蓄量	
	24, 156 人×80. 1%×30%×1 袋=5, 805 袋	
	※本市が考える富山県の分担割合	
	【市現物備蓄量】	
	19,349 袋-5,805 袋=13,544 袋	
	≒[13, 560 袋(226 箱(60 袋入))	
低たんぱく米	1人あたり3食、1日分を備蓄	腎臓機能障
(アルファ化	全体整備量(市現物備蓄量)	がい者
米)	24, 156 人×0. 3%×3 食=217 食	
	≒250 食(5 箱(50 食入))	
おかゆ(アル	1人あたり3食、1日分を備蓄	0~2歳、
ファ化米)	全体整備量 (市現物備蓄量)	75 歳以上
【3種類(3	24, 156 人×19. 9%×3 食=14, 421 食	
つの味)】	≒14,450 食(289 箱(50 食入))	
液体ミルク	1人あたり 10、1日分を備蓄	0歳
	全体整備量(市現物備蓄量)	
	24, 156 $\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \$	
	<sup>2</sup> =61.5ℓ≒69.1ℓ (288 缶 (240mℓ/缶))	
	※1:平成27年度 乳幼児栄養調査結果	
	(3ページ):厚生労働省によると、母乳栄養	
	の割合は、生後3か月では54.7%となってい	
	ることから、母乳栄養以外の割合は、全量か	
	ら母乳栄養を差し引いた 45.3%とする。	
	※2:保育所におけるアレルギー対応ガイ	
	ドライン(25 ページ): 2019 年厚生労働省を	
	踏まえ、全量からアレルギー対応の粉ミルク	
	の割合 (6.4%) を引いた割合	

品目	算出根拠及び整備量	対象者
粉ミルク(ミ	1人あたり135g、1日分を備蓄	0歳(アレ
ルクアレルギ	全体整備量(市現物備蓄量)	ルギー)
一対応)	24, 156 人×0. 6%×135 g×45. 3%×6. 4%	
	=567 g	
	避難所開設後速やかに配布する体制を整え	
	るため、拠点避難所ごとに 87g×2箱=174g	
	を備蓄する。	
	27 拠点避難所×174g=4,698g(54 箱)	
乳幼児用せん	1人あたり1袋を備蓄	0~2歳
べい	全体整備量(市現物備蓄量)	
	24, 156 人×1.8%×=435 枚	
	避難所開設後速やかに配布する体制を整え	
	るため、拠点避難所ごとに 24 袋×1箱を備蓄	
	する。	
	27 拠点避難所×24 袋=648 袋(27 箱)	

### 【寝具】

【传杂】		
品目	算出根拠及び整備量	対象者
毛布	1人あたり毛布又はアルミ保温シート等のい	備蓄支給対
	ずれかを1枚備蓄	象者
	県現物備蓄量	
	24, 156 人×30%×85%*× 1 枚=6, 160 枚	
	※富山県の寝具に占める毛布の割合	
	【市現物備蓄量】	
	4,130枚(令和4年4月時点の整備量)	
アルミ保温シ	1人あたり毛布又はアルミ保温シート等のい	備蓄支給対
ート等	ずれかを1枚備蓄	象者
	県現物備蓄量 (シュラフ)	
	24, 156 人×30%×15%*× 1 枚=1, 087 枚	
	※富山県の寝具に占めるシュラフの割合	
	【市現物備蓄量】(アルミ保温シート)	
	24, 156 人× 1 枚-6, 160 枚-4, 130 枚-	
	1,087 枚=12,779 枚≒12,780 枚	
	※令和4年4月時点の整備量:4,050枚	

## 【生活必需品】

品目	算出根拠及び整備量	対象者
携帯トイレ	1人あたり5回分を備蓄	備蓄支給対
	全体整備量(市現物備蓄量)	象者から紙
	24, 156 人×94. 9%× 5 回=114, 620 回	おむつ対象
	≒114,700 回(1,147 箱(100 回入))	者を除く者
トイレットペ	1人あたり 7.5mを備蓄	備蓄支給対
ーパー	全体整備量(市現物備蓄量)	象者
	24, 156 人×7. 5m <sup>*1</sup> ÷200m巻=906 ロール	
	≒912 ロール(76 箱 <sup>※2</sup> )	
	※1:NPO 緊急災害備蓄推進協議会(経済産	
	業省推奨) によると、4人で150m巻6ロール	
	を約1ヶ月分としている。150m×6ロール÷	
	4 人÷30 日(1 ヶ月) =7.5m/人/日	
	※2:1パックに4ロール入りで、1箱に	
	3パック入りとする。	
紙おむつ(乳	1人あたり8枚を備蓄	0~3歳
幼児用)	全体整備量(市現物備蓄量)	
	24, 156 人×2. 4%×8 枚=4, 638 枚	
	拠点避難所ごとに各サイズ1箱(2袋)を	
	一拠点避難所ことに合りイベエ相(2表)を   備蓄する。なお、サイズごとの枚数は目安と	
	捕笛りる。なや、リイベーとの収斂は日女と   する。	
	9 つ。 27 拠点避難所×4 サイズ×1 箱	
	= 108 箱(13,500 枚)	
	100 /II (10, 000 IA)	
	新生児用:76 枚/袋×2袋×27 箱=4,104 枚	
	S : 70 枚/袋×2袋×27 箱=3,780 枚	
	M : 56 枚/袋×2袋×27 箱=3,024 枚	
	L : 48 枚/袋×2袋×27 箱=2,592 枚	

品目	算出根拠及び整備量	対象者
紙おむつ(大	1人あたり6枚を備蓄	要介護認定
人用)	全体整備量(市現物備蓄量)	3以上
	24, 156 人×2. 6%× 6 枚=3, 768 枚	
	拠点避難所ごとに各サイズ1箱(4袋)を	
	備蓄する。なお、サイズごとの枚数は目安と	
	する。	
	27 拠点避難所× 2 サイズ× 1 箱	
	=54 箱(4,968 枚)	
	M:24枚/袋×4袋×27箱=2,592枚	
	L:22枚/袋×4袋×27箱=2,376枚	
おしりふき	1人あたり1個(10枚)を備蓄	0~3歳
(乳幼児用)	全体整備量(市現物備蓄量)	
	24, 156 人×2. 4%×1 個=580 個	
哺乳瓶	1人あたり1組(5回分)を備蓄	0歳児
	全体整備量(市現物備蓄量)	
	24, 156 人×0. 6%×45. 3%*=66 組≒68 組	
	※平成27年度乳幼児栄養調査結果(3ペ	
	ージ)厚生労働省によると、母乳栄養の割合	
	は、生後3か月では54.7%となっていること	
	から、母乳栄養以外の割合は、全体から母乳	
	栄養を差し引いた 45.3%とする。	

品目	算出根拠及び整備量	対象者
生理用品	1 人あたり 6 枚を備蓄 全体整備量(市現物備蓄量)	12~51 歳の 女性
	$24,156$ 人×19.9% $^{*1}$ × 5 日/32 日 $^{*2}$ × 6 枚 =4,507 枚	
	<ul> <li>※1:女と男のディクショナリー改訂第二版(19ページ)2018年日本産科婦人科学会を踏まえ、生理対象年齢を12~51歳とする。</li> <li>※2:女と男のディクショナリー改訂第二版(19ページ)2018年日本産科婦人科学会を踏まえ、月経周期を5日/32日とする。</li> </ul>	
	拠点避難所ごとに1箱(10パック**3)を備蓄する。なお、枚数は目安とする。 ※3:1パック43枚入り 27拠点避難所等×1箱=28箱(12,040枚)	
カイロ	1 人あたり 1 個を備蓄 24, 156 人× 1 個=24, 156 個 ≒24, 170 個(2, 417 箱)	備蓄支給対 象者

## イ 整備量(目標量)一覧

分類	品目	整備量	規格
	飲料水	24, 156 Q	24 本(約 0.50)/箱
省 <del>//</del>	パン・ご飯・ビスケット	40,682 食	パン・ご飯は各3種類
飲料	低たんぱく米	250 食	50 食/箱
水	おかゆ	14,450 食	50 食/箱、3種類
• 食 料	液体ミルク	288 缶	240ml/缶、24 缶/箱
朴 	粉ミルク (アレルギー)	54 箱	87g/箱、ステックパック
	乳幼児用せんべい	648 袋	24 食/箱
寝具	毛布	4,130 枚	10 枚/箱
具	アルミ保温シート	12,780 枚	
	携帯トイレ	114,700 回	100 回/箱
	トイレットペーパー	912 ロール	12 ロール/箱
	紙おむつ (乳幼児用)	13,500 枚	新生児用、S、M、Lサイズ
	紙おむつ (大人用)	4,968 枚	M、Lサイズ
	おしりふき (乳幼児用)	580 個	100 個/箱
	哺乳瓶	68 組	5 回/組
	生理用品	12,040 枚	430 枚/箱
	ポリタンク	135 個	5個/避難所
	バケツ	135 個	5個/避難所
	水槽 (5000)	27 個	1個/避難所
	カセットコンロ	29 基	1基/避難所
生	コンロ用ガス	29 組	1組(3本)/避難所
生活必	鍋	81 個	3個/避難所
必需	やかん	30 個	1個/避難所
品等	大型救急箱(20人用)	28 個	1個/避難所
寺	防災テント	81 張	3 張/避難所
	間仕切り	572 張	22 張/避難所
	ブルーシート	58 組	2組(10枚入)/避難所
	敷マット	27 本	1本 (50m)
	投光器	55 基	2基/避難所
	発電機	54 基	1基又は2基/避難所
	燃料携行缶	28 缶	1缶/避難所
	カイロ	24,170 個	10個/袋
	手指消毒剤	1350	1箱(0.50×10本)/避難所
	マスク(子供・大人)	26,500 枚	1箱(500枚)
	使い捨て手袋	10,800 枚	1箱(400枚)/避難所
	非接触式体温計	162 個	6個/避難所

### ウ 備蓄場所ごとの整備量(目標量)

品目	①成美小	②能町小	③伏木小	④古府小	⑤太田小	⑥旧平米小	⑦旧横田小	⑧旧川原小	9高岡西部小	⑩博労小	⑪万葉小	⑩高陵小	13五位小	40日千鳥丘小	⑤石堤公民館
飲料水	1, 2600	1,5720	7320	7680	3120	4920	6960	5640	9720	1, 1160	6240	1, 3920	6240	5280	1080
パン	684 食	864 食	396 食	432 食	180 食	288 食	396 食	324 食	540 食	612 食	360 食	792 食	360 食	288 食	72 食
ご飯	700 食	850 食	400食	450 食	200食	250 食	400 食	300食	550食	650 食	350 食	800 食	350 食	300 食	50 食
ビスケット	720 食	900食	420 食	420 食	180 食	300食	420 食	300 食	540 食	600食	360 食	780 食	360 食	300 食	60 食
低たんぱく米	12 食	17 食	9食	9食	3 食	6食	9食	6 食	9食	11 食	9食	12 食	6食	6 食	3 食
おかゆ	700食	950 食	450 食	450 食	200食	300食	400 食	350 食	600食	650 食	400食	850 食	400 食	300 食	50 食
液体ミルク	14 缶	18 缶	9 缶	10 缶	4 缶	6 缶	9 缶	6 缶	12 缶	13 缶	7 缶	16 缶	7 缶	6 缶	3 缶
粉ミルク(アレルギー)	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱	2 箱
乳幼児用せんべい	24 袋	24 袋													
毛布	220 枚	260 枚	120 枚	130 枚	60 枚	90 枚	120 枚	100 枚	160 枚	190 枚	110 枚	230 枚	110 枚	90 枚	20 枚
アルミ保温シート	670 枚	830 枚	390 枚	410 枚	170 枚	260 枚	370 枚	300 枚	520 枚	590 枚	330 枚	730 枚	330 枚	280 枚	50 枚
携帯トイレ	5,900 回	7,400 回	3,500 回	3,600 回	1,500 回	2,400 回	3,300 回	2,700 回	4,600 回	5,300 回	3,000 回	6,600 回	3,000 回	2,500 回	500 回
トイレットへ。一ハ。一	48 p-jv	48 ロール	24 p-jv	24 ロール	12 בארם	24 บ-ม	24 ท–ม	24 ท–ม	36 ロール	36 ロール	24 p-N	48 ロール	24 ロール	24 ロール	12 ロール
紙おむつ (乳幼児用)	500 枚	500 枚													
紙おむつ (大人用)	184 枚	184 枚													
おしりふき (乳幼児用)	30 個	30 個	20 個	10 個	10 個	10 個	20 個	10 個	20 個	30 個	20 個	30 個	20 個	10 個	10 個
哺乳瓶	3 組	4組	2組	2組	1組	1組	2組	2組	3 組	3 組	2組	4組	2組	1組	1組
生理用品	860 枚	430 枚													
ポリタンク	5 個	5 個	5個	5個	5個	5個	5 個	5個	5 個	5 個	5個	5個	5個	5 個	5 個
バケツ	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個	5 個
水槽 (500L)	1個	1 個													
カセットコンロ	1 基	1 基	1 基	1 基	1基	1 基	1 基	1 基	1 基	1 基	1 基	1基	1 基	1 基	1 基
コンロ用ガス	1組	1組													
銅	3 個	3 個	3個	3個	3個	3個	3個	3個	3 個	3個	3個	3個	3個	3 個	3 個
大型やかん	2個	1個	1個												
大型救急箱	2個	1個	1個												
防災テント	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張	3 張
間仕切り	22 張	22 張													
ブルーシート	2 組	2組	2 組	2組	2 組	2組	2 組	2 組	2 組	2組	2 組	2組	2組	2組	2組
敷マット	1本	1本													
投光器	3 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基
発電機	4 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	2 基	1 基
燃料携行缶	2 缶	1缶	1 缶	1 缶											
カイロ	1,260個	1,570個	730 個	770 個	310 個	490 個	700 個	560 個	980 個	1,120個	630 個	1,390個	630 個	520 個	100 個
手指消毒剤	100	50	5.0	50	5.0	50	5.0	5.0	5.0	50	5.0	5.0	50	50	30
マスク (子供・大人)	1,500 枚	1,000枚	1,000枚	1,000枚	1,000 枚	1,000枚	1,000 枚	1,000 枚	1,000 枚	1,000 枚	800 枚				
使い捨て手袋	800 枚	400 枚	200 枚												
非接触式体温計	6個	6 個	6個												

品目	16埋蔵文化	⑪国吉	18福岡小	19-1	19-2	20野村小	②牧野小	22南条小	23-1	23-2	24二塚小	②戸出	26戸出	②中田小	合計
ни н	財センター	義務教育校		下関小	芳野中				木津小	南星中		東部小	西部小		
飲料水	360	4200	1, 5960	3480	1, 3920	2, 4360	1, 2960	9720	4320	4320	4200	7680	1,0800	7680	24, 1560
パン	36 食	252 食	864 食	180 食	792 食	1,368食	720 食	540 食	252 食	252 食	252 食	432 食	612 食	432 食	13,572 食
ご飯	50 食	250 食	850 食	200食	800 食	1,300食	700食	550 食	250 食	250 食	250 食	450 食	600食	450 食	13,550食
ビスケット	60 食	240 食	900食	180 食	780 食	1,320食	720 食	540 食	240 食	240 食	240 食	420 食	600食	420 食	13,560食
低たんぱく米	3 食	6食	14 食	3 食	15 食	20 食	12 食	9食	4 食	4 食	3食	9食	12 食	9食	250 食
おかゆ	50 食	250 食	950 食	200食	850 食	1,450食	750 食	600食	250 食	250 食	250 食	450食	650 食	450 食	14,450食
液体ミルク	1缶	5 缶	18 缶	5 缶	16 缶	28 缶	15 缶	12 缶	5 缶	5 缶	5 缶	10 缶	13 缶	10 缶	288 缶
粉ミルク (アレルギー対応)	2 箱	2 箱	2 箱	1箱	1箱	2 箱	2 箱	2 箱	1箱	1箱	2 箱	2 箱	2箱	2 箱	54 箱
乳幼児用せんべい	24 袋	24 袋	24 袋	24 袋	0 袋	24 袋	24 袋	24 袋	24 袋	0 袋	24 袋	24 袋	24 袋	24 袋	648 袋
毛布	10 枚	80 枚	270 枚	60 枚	230 枚	410 枚	220 枚	160 枚	80 枚	80 枚	80 枚	130 枚	180 枚	130 枚	4,130枚
アルミ保温シート	20 枚	220 枚	840 枚	180 枚	730 枚	1,290 枚	680 枚	520 枚	230 枚	230 枚	220 枚	410 枚	570 枚	410 枚	12,780 枚
携帯トイレ	200 回	2,000 回	7,600 回	1,700 回	6,600 回	11,600 回	6,100 回	4,600 回	2,100 回	2,100 回	2,000 回	3,600 回	5,100 回	3,600 回	114,700 回
トイレットへ。ーハ。ー	12 ロール	12 ロール	60 ロール	24 ก–พ	48 ท–ม	84 บ-ม	48 ก–พ	36 ロール	24 บ–ル	24 ロール	24 บ-ม	24 p-jv	36 ロール	24 บ-ม	912 ฅ–ฬ
紙おむつ (乳幼児用)	500 枚	500 枚	500 枚	500 枚	0枚	500 枚	500 枚	500 枚	500 枚	0枚	500 枚	500 枚	500 枚	500 枚	13,500 枚
紙おむつ (大人用)	184 枚	184 枚	184 枚	184 枚	0 枚	184 枚	184 枚	184 枚	184 枚	0 枚	184 枚	184 枚	184 枚	184 枚	4,968 枚
おしりふき (乳幼児用)	10 個	10 個	40 個	40 個	0個	50 個	30 個	20 個	20 個	0個	10 個	20 個	30 個	20 個	580 個
哺乳瓶	1組	1組	4組	1組	4組	7組	4組	3 組	1組	1組	1組	2 組	3 組	2 組	68 組
生理用品	430 枚	430 枚	430 枚	430 枚	0枚	430 枚	430 枚	430 枚	430 枚	0枚	430 枚	430 枚	430 枚	430 枚	12,040 枚
ポリタンク	5個	5個	5個	0個	5 個	5個	5個	5 個	0個	5個	5個	5 個	5個	5 個	135 個
バケツ	5個	5個	5 個	1個	4個	5個	5個	5個	2個	3個	5個	5個	5個	5 個	135 個
水槽 (500L)	1個	1個	1個	0個	1個	1個	1個	1個	1個	0個	1個	1個	1個	1個	27 個
カセットコンロ	1 基	1 基	1 基	1 基	1 基	1 基	1 基	1 基	1 基	1基	1 基	1 基	1 基	1 基	29 基
コンロ用ガス	1組	1組	1組	1組	1組	1組	1組	1組	1組	1組	1組	1組	1組	1組	29 組
鍋	3 個	3 個	3個	0個	3個	3個	3個	3 個	3個	0 個	3個	3 個	3 個	3 個	81 個
大型やかん	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	1個	30 個
大型救急箱	1個	1個	1個	1個	0 個	1個	1個	1個	1個	0 個	1個	1個	1個	1個	28 個
防災テント	3 張	3 張	3 張	0 張	3 張	3 張	3 張	3 張	1張	2 張	3 張	3 張	3 張	3 張	81 張
間仕切り	0 張	22 張	22 張	22 張	0 張	22 張	22 張	22 張	22 張	0 張	22 張	22 張	22 張	22 張	572 張
ブルーシート	2組	2組	2組	2組	2組	2組	2組	2組	2組	2組	2組	2組	2組	2 組	58 組
敷マット	1本	1本	1本	1本	0本	1本	1本	1本	1本	0本	1本	1本	1本	1本	27 本
投光器	2 基	2 基	2 基	2 基	0 基	2 基	2 基	2 基	2 基	0 基	2 基	2 基	2 基	2 基	55 基
発電機	1 基	2 基	2 基	2 基	0 基	2 基	2 基	2 基	2 基	0 基	2 基	2 基	2 基	2 基	54 基
燃料携行缶	1 缶	1 缶	1 缶	1 缶	0 缶	1 缶	1 缶	1 缶	1 缶	0 缶	1缶	1 缶	1 缶	1 缶	28 缶
カイロ	30 個	420 個	1,600 個	350 個	1,390個	2,440個	1,290個	980 個	430 個	440 個	420 個	770 個	1,080個	770 個	24, 170 個
手指消毒剤	20	50	50	30	20	50	5.0	50	30	20	50	50	5.0	50	1350
マスク (子供・大人)	200 枚	1,000枚	1,000枚	800 枚	200 枚	1,000枚	1,000枚	1,000枚	800 枚	200 枚	1,000枚	1,000枚	1,000枚	1,000枚	26,500 枚
使い捨て手袋	200 枚	400 枚	400 枚	200 枚	200 枚	400 枚	400 枚	400 枚	200 枚	200 枚	400 枚	400 枚	400 枚	400 枚	10,800 枚
非接触式体温計	6個	6個	6個	6個	0個	6個	6個	6 個	6個	0 個	6個	6 個	6個	6個	162 個

### 4 流通備蓄

本市では、複数の自治体(15団体)との災害時相互応援協定及び民間事業者(14企業・団体)との災害時応援協定を締結し、災害時に必要な物資等を要請し、調達する仕組みを整えており、今後も適時適切に協定を締結し、流通備蓄の体制を強化していく。

## (1) 災害時相互応援協定都市

表 12 のとおり、被災の状況及び協定都市からの調達時間等を考慮し、協定内容に基づき物資を要請し、調達する。

表 12 災害時相互応援協定都市一覧

相手方	協定都市との	品目					
	おおむねの距離						
近接自治体(富山	<b>県西部自治体</b> )						
富山県射水市	約 6km	寝具・生活必需品					
富山県氷見市	約 15km	(とやま呉西圏域連携事業の広域					
富山県砺波市	約 15km	防災連携事業(災害備蓄))					
富山県小矢部市	約 20km						
約 100km 圏内自治・	<b>体</b> (北陸自動車道沿	·道)					
石川県金沢市	約 50km	飲料水、食料、寝具、生活必需品					
石川県小松市	約 80km						
約 200km 圏内自治・	体(北陸自動車道・	東海北陸自動車道沿道)					
福井県越前市	約 150km	飲料水、食料、寝具、生活必需品					
岐阜県美濃市	約 180km						
約 300km 圏内自治	<b>体</b>						
愛知県一宮市	約 210km	飲料水、食料、寝具、生活必需品					
岐阜県大垣市	約 220km						
新潟県長岡市	約 220km						
岐阜県中津川市	約 250km						
約 500km 圏内自治体							
静岡県沼津市	約 450km	飲料水、食料、寝具、生活必需品					
千葉県松戸市	約 460km						
神奈川県大和市	約 470km						

### (2) 災害時応援協定事業者(民間事業者)

表 13 のとおり、災害時に応援協定及び支援協定を締結している民間事業者に対し、応援等の要請を行う。

表 13 災害時応援協定(物資の供給等)を締結している民間事業者一覧

相手方	飲料水	食料	寝具	生活必需品	応急対策資機材	車両・燃料	物資の輸送
イオンスタイル高岡南店	0	0	0	0			
(株) 大阪屋ショップ	0	0		0			
三幸 (株)	0	0		0			
アークランドサカモト (株)	0	0	0	0	0		
NPO 法人コメリ災害対策センター	0		0	0	0		
北陸コカ・コーラボトリング (株)	0						
(有) ヤングドライ高岡	0						
(株) アクティオ高岡営業所				0	0	0	
千代田機電 (株)				0	0	0	
(株) レンタルのニッケン高岡営業所*9				0		0	
(社) 富山県エルピーガス協会高岡支部						0	
北陸紙器(株)				0			
Jパックス(株)				0			
大和トランスポート (株) **10							0
(株) 北陸流通企画 <sup>*9</sup>				0			

※9:仮設トイレ、※10:ヘリコプターによる緊急支援物資・要員の輸送

(参考) 富山県における燃料及び物資輸送に係る災害時応援協定

相手方	品目
富山県石油商業組合	燃料(石油)
石油連盟	燃料(石油)
(社) 富山県トラック協会	物資の輸送
富山県倉庫協会	物資の保管

## 5 整備・更新の考え方

計画的に整備及び更新を進め、購入から長期間経過した物資は、サンプル 調査を行い、劣化等があれば都度更新する。保存期限を有する物資は、保存 期限を迎える前年度から訓練及び出前講座において、市民の防災意識の高揚 及び家庭内備蓄の促進に活用する。

災害時に物資を使用する場合、市民の協力を得なければならないことから、 訓練や出前講座の機会に、物資の保管場所の確認及び資機材等の使用方法を 習得してもらうよう努める。

生活必需品のうち、マンホールトイレは、学校の建て替えや大規模改修の機会に、避難所内での整備スペースの確保、汚物を流すための水の確保及び市全体の整備状況等を踏まえ、設置の検討を行う。

感染症対策物品は、感染症の発生状況に応じて検討を行い、適時適切に対応する。

## 高岡市災害備蓄計画

平成 26 年 (2014 年) 3 月策定 令和 5 年 (2023 年) 3 月改定

高岡市総務部危機管理課

住所: 〒933-8601 高岡市広小路7番50号

電話:0766-20-1229 (直通)

メール: kikikanri@city.takaoka.lg.jp